



「海のお仕事体験プロジェクト (海と日本2021)」 実施報告書



目次

- 事業概要
- 事業実績と総括
- 事業内容
 - 体験事業
 - WEB事業
- メディア露出実績

事業概要

事業目的	子どもたちが、日常の中では見えにくい「お仕事」に触れることで、「海」を知り、「海」を身近に感じ、「海」の問題を自分ごととして捉え、多角的にモノゴトを捉える視点を養うとともに、「日常生活における意識や行動変化」を起こすこと。
事業目標	お仕事体験プログラムの更なる発展を見据えた、プラットフォームの整備・推進とコンテンツ開発における3つの真価を提供する。 ① お仕事体験プラットフォームの更なる整備構築 (マニュアル強化、集客フォーマットの強化、世界観づくりのアイテム強化、地域全体との結びつき強化) ② 【深化】子どもたちが立体・多角的な視点を養うことができるように、「自然」・「地域」とのつながりをお仕事を通して体験できるストーリーを強化すること。 ③ 【進化】定着したお仕事メニューのプログラムのパッケージ化を図り、事業者との協業による複数地域での開催を実現させること。 ④ 【新化】親もプログラムの参加者から参画者へ巻き込む。関係者全員でより良質な仕事プログラムを作り上げること。
事業内容	【体験事業】 ・ 「海のお仕事」体験イベントの企画・運営 【WEB事業】 ・ 「海のお仕事図鑑」WEB発信
コンセプト等	『海のお仕事図鑑プロジェクト』は、子どもたちが“リアル”な海のお仕事に触れることにより、海水浴等のレジャーとしての「海」だけではなく、私たちの日々の生活を支える産業や文化など多角的な視点からの「海」を知ること、「海」を身近に感じ「海」の問題をより深く自分ごととして考えるきっかけを創るとともに、その過程で「ものごと」を多面的に捉える力を養ってほしい、との思いで推進している取組みです。 仮想空間ではない「本物の仕事現場」で「本物の仕事」を体験として提供するもので、3C（CHANCE（機会）・CHALLENGE（挑戦）・CHANGE（変化））を子どもたちの成長テーマに据え、そのため、「お仕事」として子どもたちに捉えてもらえるように、楽しいのみならず一定の責任感・緊張感をもって取り組めるストーリーづくりや体験の流れ、スタッフの振る舞いや小道具などを用いて夢中になれる世界観づくりを強く意識しています。 また、本プログラムの構築にあたっては、協力事業者において次年度以降の「自走」を前提とした継続実施の可能性を模索した内容および収支計画を念頭においています。

事業実績と総括

□2021年度実績

【体験】

協力事業者数:25業者
 総企画イベント数：26本(新規:17本,既存:9本,中止:4本)
 参加者総数：207名(うち子ども：約100名以上)

【WEB】

総PV数：191,390回以上
 (2021年5月～2021年12月)

2020年度実績

協力事業者数:19業者
 総イベント数：22回
 子どもの参加人数：約100名以上

総PV数：127,445回以上
 (2020/5月～2020/12月)

□2021年度総括と展望

□お仕事体験の総括について

2021年度は、20年度に引き続き、新型コロナ禍の影響を大きく受け、最盛期である8月は緊急事態宣言が発令されるなど、厳しい状況下ではありましたが、前年度からのコロナ感染対策スキームの活用により、前年度を超える開催実績本数となりました。また昨年度より、連携事業者数を拡大、そして企業連携によるお仕事コンテンツの幅出し、集客力の強いフォーマット化された「漁師・水族館」コンテンツの多地域展開の実現など、これまで培ってきた海のお仕事体験プラットフォームを更に拡大させる一年となりました。

これは2019年度以前からの継続的取組みによるブランドの成長と、それに紐づく一定認知拡大が図れていたこと、更には将来展望を見据えた各地域の事業者との有意な関係値を築くことができていたことによると理解しています。

また、新たに以下の2つのチャレンジを行い、今後のプロジェクトの拡大に向けて大きな一歩となったと認識しています。

1. 海洋土木 & 保全事業などのコンテンツ幅出しの実現

これまで漁師・水産加工など一次産業を多く造成してきたが、海洋土木の業界大手である「不動テトラ」との企業連携により、海を多面的な面から関わる為のコンテンツの幅出しが実現。

2. エリア全体での取組みを見据えた地域事業者との連携

完全自走化を見据え、地域で活躍する主要事業者との関係を構築。伊豆半島におけるジオガイド協会や行政のDMO等と連携したコンテンツを造成。「水の循環」をテーマに、コンテンツに関連性を持たせることで、エリア全体での取組みにつなげ、“面で発信することによる”お仕事体験のブランド拡大を狙う。

22年度に向けて、お仕事体験プラットフォームのさらなる拡大を見据えた取組ができたと考えています。

□WEBの総括について

専用WEBサイトでは総PVが20万弱となり、前年度比で150%を達成。厳しいコロナ情勢下でありながらも、情報コンテンツの充実化と継続的な運用・更新によるSEOの向上、そしてこれまで培ったリピーターの増加に因るものと考えます。

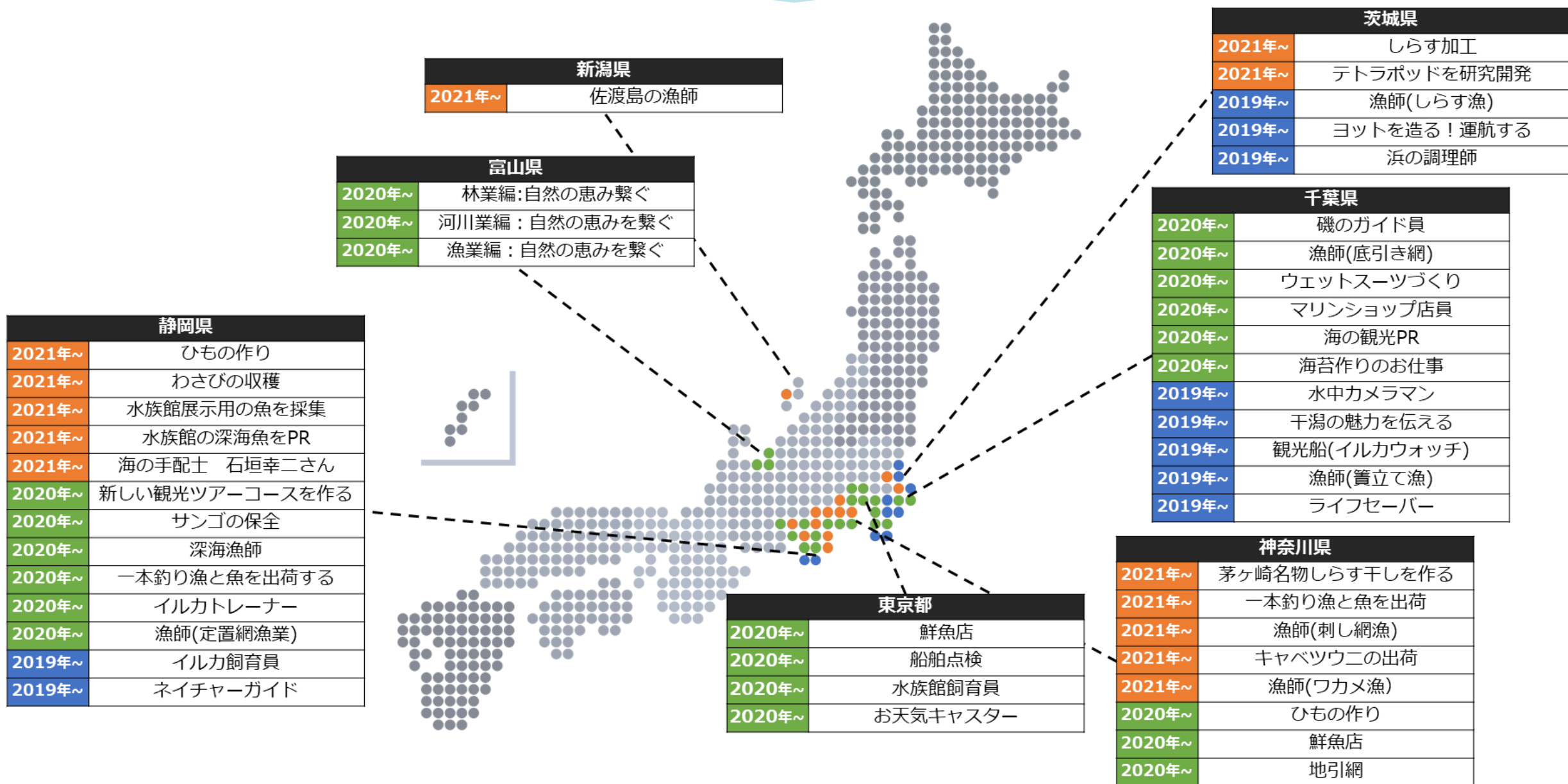
□今後に向けた課題

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、取組みに向けた事業者との交渉の停滞や、実施内容の制約による変更・調整などにより、全体として体験実施時期の後ろ倒しを行うなど、最盛期である夏の時期に混乱が生じた。今後も、一定の状況下が続くと予想されるため、引き続き、体験内容を更に工夫することによる感染予防対策など、予めWithコロナを想定して体験の企画・開発を継続します。また、メディア露出においても、体験毎の「点」による発信では波及効果に限界がある為、行政や地域における主力事業者の巻き込むなど、エリア全体での「面」による展開で、メディア波及効果の拡大を狙います。

□今後の展望について

今後の継続的な取組拡大および事業者の完全自走化の実現に向け、モデル化したプラットフォーム(プログラム構築ノウハウ・アイテム汎用化・有償での集客スキームなど)を磨き上げ、誰もが利活用しやすい環境を整備。それを元に、地域の主力事業者(行政・地方DMOなど)によるお仕事メニュー開発や運営などのフランチャイズモデル化を進めていきます。これにより熱源足りうる地域事業者の参入障壁を軽減し、プログラムの質の向上、運用を維持しやすい仕組み化を進めます。また、一般企業・社会教育機関・自治体等と連携関係を構築することにより、「海のお仕事」ブランドの波と、エリア事務局との連携による、全国的なお仕事体験プロジェクトの拡大を推進します。

-“リアル”お仕事体験プラットフォームを全国へと波及・拡大する-



事業内容 - 体験事業 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

体験事業の本質的な目的や世界観づくりに係る指針を策定

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。

海を取り巻く現況を海に携わる人から
直接子どもたちへ伝える。

“実際の仕事現場”で“本物の仕事”
体験を“仕事の達人”が提供する。

日常生活における意識や行動を見直
すキッカケを与える。

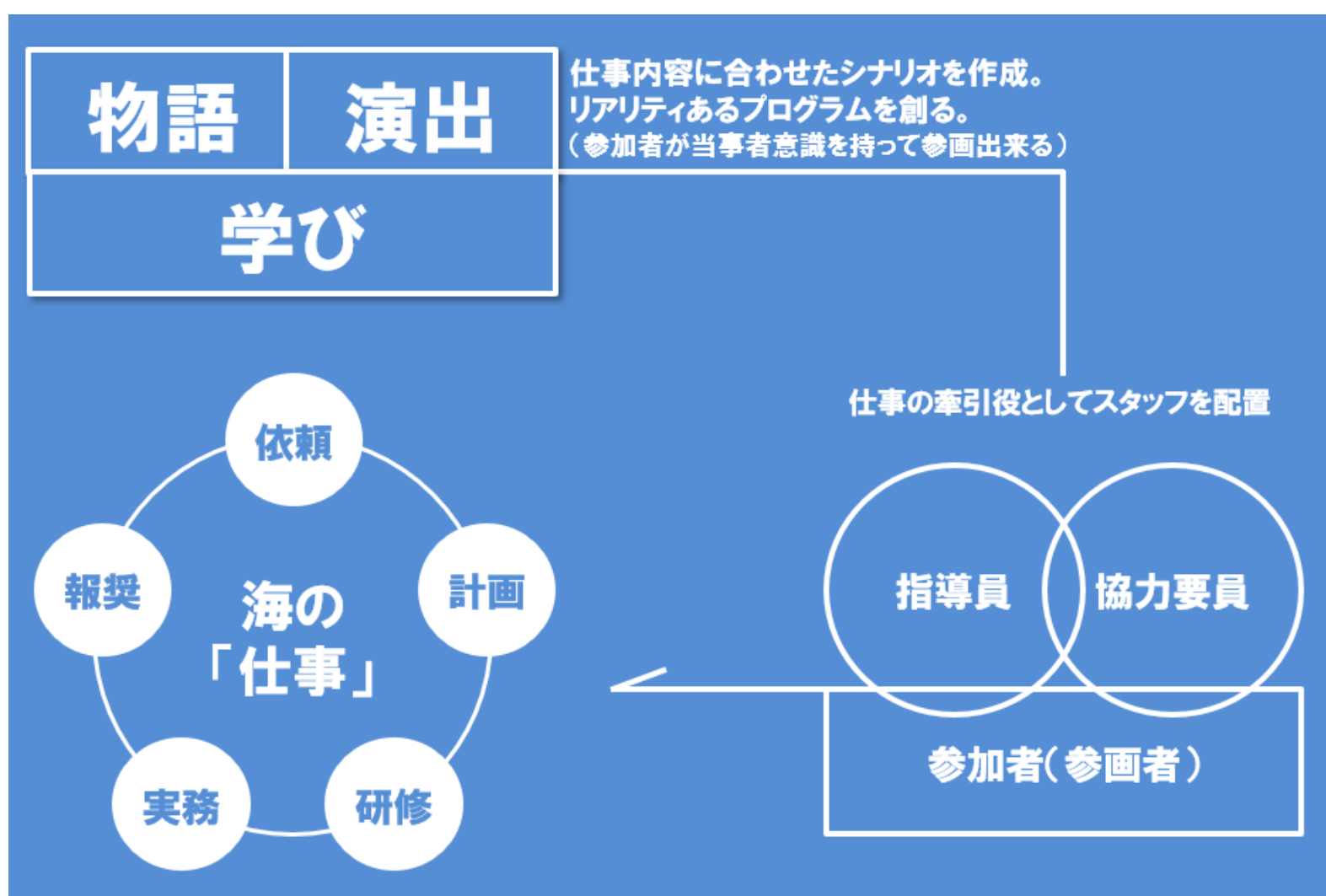
Chance
— 機会 —

Challenge
— 挑戦 —

Change
— 変化 —

■世界観作りの施策

“リアルな”なお仕事体験を創出するためのストーリーを設計



■ お仕事の流れ

全てのお仕事体験にお仕事の流れを組み込み実施しました。

入社式



自己紹介や挨拶を実施。子どもたちの気持ちを「お仕事モード」に切り替える非日常感を演出。

※各お仕事ごとにミッションを用意し、達成に向かって「研修→お仕事」を行いました。

研修



フリップやホワイトボードを用いた座学の実施。お仕事の前段階として知識の素地を作る。

お仕事



1つの作業体験で終始せず、お仕事ミッションに対して複数の「業務」を実践。

レポート作成



お仕事を実施して感じたこと、学んだことを振り返る時間を設け、記憶と記録に残せるように設計。また、自由研究にも活用できるものとして準備。

給与の受け取り



お仕事を終了した証として、給与(イベント専用のお金)と名刺を授与。

お買い物



イベント専用のお金を使っでの買い物。

各イベントの概要等

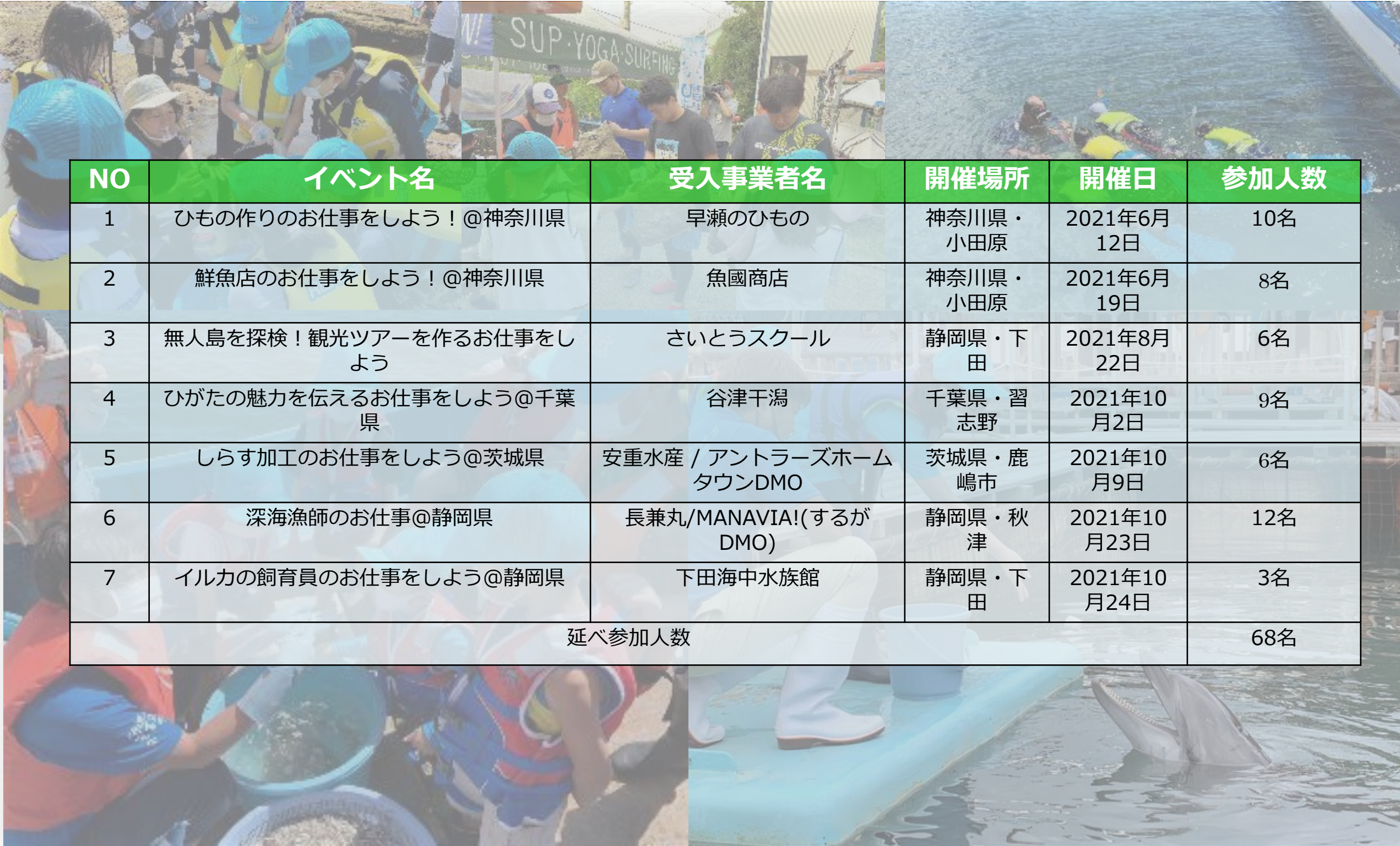
新型コロナ情勢下においても、新規に14の事業者・職種のお仕事体験を開発・開催。
また、継続メニュー確立を目指し、7つのプログラムを前年に引き続き実施。さらに全ての継続プログラムに関して、備品やレポートを除く運営部分を、事業者へ委託できるレベル(半自走化)での実施が可能となりました。

■ イベント基本情報一覧

新規開発・実施イベント

NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	漁師のお仕事体験をしよう！@千葉県	金田漁組/木更津DMO	千葉県・木更津	2021年9月19日	8名
2	川の環境を守るお仕事をしよう！	環境総合コンサルティング	埼玉県・坂戸	2021年10月2日	14名
3	イルカトレーナーのお仕事をしよう@静岡県	ドルフィンファンタジー	静岡県・伊東	2021年9月26日	6名
4	佐渡島の漁師のお仕事をしよう！	内海府漁業組合 / UKUUチーム	新潟県・佐渡	2021年10月2日～3日	7名
5	ひもの作りのお仕事をしよう！@静岡県	釜鶴	静岡県・熱海	2021年10月9日	10名
6	わさびの収穫体験をしてみよう	ジオガイド協会/藤沢わさび農園	静岡県・西伊豆	2021年10月16日	5名
7	サンゴの植樹体験をしてみよう	ジオガイド協会/平沢マリンパーク	静岡県・沼津	2021年10月17日	8名
8	テトラポッドを研究開発するお仕事@茨城県	不動テトラ	茨城県・土浦	2021年10月23日	6名
9	水族館の深海魚をPRしよう！@静岡県	下田海中水族館	静岡県・下田	2021年10月24日	4名
10	茅ヶ崎名物しらす干しを作るお仕事をしよう！	茅ヶ崎観光協会	神奈川県・茅ヶ崎	2021年11月16日	12名
11	水族館展示用の魚を採集しよう！@静岡県	伊豆・三津シーパラダイス	静岡県・沼津	2021年10月31日	10名
12	一本釣り漁のお仕事をしよう！@神奈川県	平塚漁組/庄三郎丸	神奈川県・平塚	2021年11月13日	20名
13	漁師のお仕事をしよう！@神奈川県	小坪漁組/逗子市経済観光課	神奈川県・逗子	2021年11月7日	20名
14	海の手配師、石垣幸二さんのお仕事@静岡県	ブルーコーナー	静岡県・沼津	2021年11月13日	9名
延べ参加人数					139名

前年度からの継続実施イベント



NO	イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
1	ひもの作りのお仕事をしよう！@神奈川県	早瀬のひもの	神奈川県・小田原	2021年6月12日	10名
2	鮮魚店のお仕事をしよう！@神奈川県	魚國商店	神奈川県・小田原	2021年6月19日	8名
3	無人島を探検！観光ツアーを作るお仕事をしよう	さいとうスクール	静岡県・下田	2021年8月22日	6名
4	ひがたの魅力を伝えるお仕事をしよう@千葉県	谷津干潟	千葉県・習志野	2021年10月2日	9名
5	しらす加工のお仕事をしよう@茨城県	安重水産 / アントラズホームタウンDMO	茨城県・鹿嶋市	2021年10月9日	6名
6	深海漁師のお仕事@静岡県	長兼丸/MANAVIA!(するがDMO)	静岡県・秋津	2021年10月23日	12名
7	イルカの飼育員のお仕事をしよう@静岡県	下田海中水族館	静岡県・下田	2021年10月24日	3名
延べ参加人数					68名

以下は事業者との関係構築ができており、実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況等により開催を見送ったお仕事。次期、社会情勢を踏まえて開催に向けて再調整を行う。

NO	海のお仕事/職種	受入事業者名	開催場所
1	水中カメラマンのお仕事をしよう！	館山ダイビングサービス	千葉県
2	一本釣り漁と魚を出荷するお仕事しよう！	株式会社イシグロ	静岡県
3	一本釣り漁と魚の出荷作業をしよう！	江の島漁業協同組合	神奈川県
4	キャベツウニの出荷にチャレンジ！	小坪漁業協同組合	神奈川県
5	船舶整備のお仕事をしよう！	勝どきマリーナ	東京都
6	漁師のお仕事をしよう！	水橋漁業協同組合	富山県
7	養殖業のお仕事をしよう！	堅田漁業協同組合	和歌山県
8			
9			
10			
11			
12			

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

■各イベントの実施概要 (新規開発実施イベント：全14種/14回開催)

漁師のお仕事体験をしよう！@千葉県

お仕事ミッション：

漁師として、底引き網漁で新鮮なお魚をとる

【受入事業者】
金田漁組/木更津DMO

【開催日】
2021年9月12日

【開催場所】
千葉県・木更津

【参加人数】
子ども8名



【研修/実践内容】

- ①魚食文化/漁法について学習
- ②底引き網漁
- ③魚の販売体験

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・漁師の仕事の大変さを知り、魚の有難みを感じる

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.0
講師の習熟度	3.5
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	5.0

木更津で伝統的な底引き網漁を体験。子どもたちは、揺れる船で仕事をする漁師の大変さを実感した。獲れた魚の梱包作業では、どんな店にどのような魚を詰めて納品するのか子どもたち自身が考え、個性あふれる梱包作業を行った。職業体験を通して、魚や海への関心が高まり、保護者から「魚が食べられなかった子どもが魚を食べるようになった。」等の声を頂き、海と生活のつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

川の環境を守るお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

人々が安心して暮らせるように川の水質検査を行う

【受入事業者】
環境総合コンサルティング

【開催日】
2021年10月2日

【開催場所】
埼玉県・坂戸

【参加人数】
子ども：14名



【研修/実践内容】

- ①水質調査 (身近な水と比較する)
- ②川の生物の調査

【まとめ作業】

- ・川の健康状態報告レポートの作成
- ・自然と人が共存関係にあり、環境を持続させることの重要性を理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	3.0
夢中になっていた	4.5

子どもたちは、川の水質・生態系の調査を通じて、川などの自然の循環（海とのつながり）を健康状態に維持することで私たちの生活が支えられていることを学んだ。また、保全活動を担う人の仕事の大変さ、有難みを感じた。職業体験を通して子どもたちから「自然を大切にしようと思った。」「これからはゴミの分別をしようと思った。」という感想から、自然と人が共存関係にあり、持続させる事の重要性を意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

イルカトレーナーのお仕事をしよう@静岡県

お仕事ミッション：

イルカトレーナーとしてイルカと信頼関係を作るトレーニングをする

【受入事業者】
ドルフィンファンタジー

【開催日】
2021年9月26日

【開催場所】
静岡県・伊東

【参加人数】
子ども：6名



【研修/実践内容】

- ①イルカの生態学習
- ②調餌、給餌体験
- ③イルカトレーニング（サインの仕方を学ぶ）

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・コミュニケーションの重要性を理解する

【独自コンテンツ評価（5点満点）】

内容/時間のバランス	4.0
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	3.0
夢中になっていた	4.0

イルカトレーナーとして、イルカの生態について、エサづくり、イルカとのコミュニケーションの取り方、サインの出し方などを学び、子どもたちは、トレーナーのお仕事の大変さを実感。また、言葉の通じない相手にどうしたらコミュニケーションが取ることができるか、サインだけでなく、心がけなども学び、イルカに限った話だけでなく人と人との日常生活の中でも大事なスキルに通じるコミュニケーションの大切さを実感。

佐渡島の漁師のお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

豊かな自然と海に囲まれた佐渡島で漁師として生活する

【受入事業者】
内海府漁業組合 / UKUUチーム

【開催日】
2021年10月2日、3日

【開催場所】
新潟県・佐渡

【参加人数】
子ども：7名



【研修/実践内容】

- ①漁体験（準備から仕掛け、回収）
- ②捕獲した魚の出荷準備
- ③漁師さんとの交流

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・佐渡島の豊かな自然、魅力を感じる

【独自コンテンツ評価（5点満点）】

内容/時間のバランス	5.0
講師の習熟度	4.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.5
夢中になっていた	4.0

海・山・川の地域資源が豊かな佐渡島で半農半漁生活を行う離島漁師のお仕事を体験。子どもたちは、漁に出て定置網を仕掛け、獲れた魚を出荷するまでの魚の流通を体験し、朝早くから漁にでて仕事をする漁師さんの大変さと有難みを実感。参加した子どもたちからは、「漁師さんに教えてもらって魚をさばけるようになってうれしかった。」「魚が美味しかった。また佐渡島に来たい！」など豊かな自然や地元の方の優しさなど、海とともに暮らす佐渡島の魅力に気付くことができたことと推察できる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

ひもの作りのお仕事をしよう！ @静岡県

お仕事ミッション：
ひものを作り、店に納品する

【受入事業者】
釜鶴

【開催日】
2021年10月2日

【開催場所】
静岡県・熱海

【参加人数】
子ども：10名



【研修/実践内容】

- ①ひもの作り
- ②注文確認・納品
- ③魚食文化・海洋資源の学び

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・魚食文化・海洋資源を理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.0
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.3

釜鶴ひもの店は、地元の方に愛され続けている熱海の老舗干物店。実際に店舗へ注文を取りにいき、ひもの作り、納品するまでの一連の流れを体験。子どもたちは、職業体験を通して、普段スーパーで見るひものがどのようにして届けられているのか学んだ。参加した子どもたちからは、「初めて魚をさばくことができました。」「もっと魚について知りたい。」など魚や海に対する関心を高めることに成功したと推察できる。

わさびを収穫するお仕事をしよう！ @静岡県

お仕事ミッション：
わさびを収穫する、わさびにとって大切な水の大切さを考える

【受入事業者】
ジオガイド協会/藤沢わさび農園

【開催日】
2021年10月9日

【開催場所】
静岡県・西伊豆

【参加人数】
子ども：5名



【研修/実践内容】

- ①わさびの収穫、包装
- ②水のリサイクルについて学習
- ③伊豆の自然の魅力を知る

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・水の重要性と水を守るためにできることを考える

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.0
講師の習熟度	4.0
緊張感を保てた	4.5
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.0

山と海が近い伊豆半島の特産品であるわさび。わさびの成長に大事な要素として、水質を保つ必要がある。ジオガイド協会協力のもと、山・川・海の水の循環を学び、水温が変化したり、汚れた水が入るとわさびに悪影響がでることを知り、管理することの大変さを実感。「わさびにとって水が大切だと感じた。」「水を綺麗にしようと思った。」など水の重要性と水を守るためにできることを考える機会を提供することができた。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

サンゴ保全のお仕事をしよう！@静岡県

お仕事ミッション：

サンゴ礁を守る仕事を知り、実際にサンゴを植樹する

【受入事業者】
ジオガイド協会/平沢マリンパーク

【開催日】
2021年10月10日

【開催場所】
静岡県・沼津

【参加人数】
子ども：8名



【研修/実践内容】

- ①サンゴの生態学習
- ②シュノーケル練習
- ③サンゴの植樹
- ④水のサイクルを学ぶ

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海の生態系、環境保全活動について理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があつた	5.0
夢中になっていた	4.3

平沢マリンセンターでは、サンゴを保全するため「海のパトロール」「サンゴについて海藻や砂を取る」「サンゴの産卵調査」「サンゴを守る活動の情報」を多くの人に伝える「サンゴの植樹」などを行っている。子どもたちは、サンゴの観察、植樹を体験。サンゴが育つためには綺麗な海を保つことが重要であることを学んだ。「サンゴを守るために自分で出来ることをしようと思った。」「サンゴを守る仕事は大変だと感じた。」などサンゴ保全の仕事の大変さやサンゴと海の環境の繋がりを学ぶことができた。と推察できる。

テトラポッドを研究開発するお仕事@茨城県

お仕事ミッション：

テトラポッドの仕組みを学び、お客様へ提案書を作る

【受入事業者】
不動テトラ

【開催日】
2020年10月23日

【開催場所】
茨城県・土浦

【参加人数】
子ども：6名



【研修/実践内容】

- ①テトラポッド、海と自然災害の基本知識
- ②研究施設見学
- ③ミニチュアテトラポッドの製作
- ④消波実験

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海の世界、テトラポッドの仕組みについて理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	3.5
講師の習熟度	4.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があつた	4.0
夢中になっていた	4.5

お仕事体験プロジェクトで、初の海洋土木に関するお仕事体験を実施。海の災害から私たちの生活を守るテトラポッドを、研究所の見学や消波実験などの体験を通して、テトラポッドの役割やテトラポッドを研究する仕事の大変さを実感した。「テトラポッドは自分たちの生活を守ってくれていることを知ることができた。」「海に行くときはテトラポッドをみようと思う。」など海の災害から私たちの生活を守ってくれるテトラポッドに関心を持つ機会を提供することができた。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

水族館の深海魚をPRしよう！ @静岡県

お仕事ミッション：

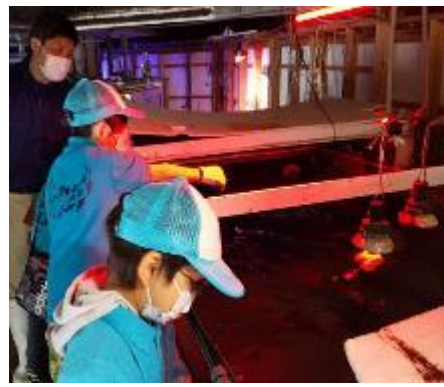
深海魚の生態を調べて、お客様に解説するPOPを作る

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2021年10月24日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども：4名



【研修/実践内容】

- ①生態学習
- ②給餌体験
- ③生物の紹介表示板の作成

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・深海生物を紹介するPOP作成

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	5.0

ほぼ自走化に近い下田海中水族館にて、深海魚PRを行うため、子どもたちは、深海魚の生態について学び、来館者に分かりやすく説明するための案内板を作成。バックヤードの仕事では、生き物によって水槽の明るさや水温などの環境が大きく異なることを知り、生き物を飼育する仕事の大変さを実感。深海魚についての勉強やPOPづくりなどの職業体験を通して、参加した子どもたちから「全く知らなかった深海の世界について知ることができた。」「水族館での仕事の大変さを感じた。」など仕事の大変さや深海の世界に関心を持つ機会を提供することができた。

茅ヶ崎名物しらす干しを作るお仕事をしよう！

お仕事ミッション：

しらす干しとしらす干しの梱包作業をする

【受入事業者】
茅ヶ崎観光協会

【開催日】
2021年10月30日

【開催場所】
神奈川県・茅ヶ崎

【参加人数】
子ども：12名



【研修/実践内容】

- ①釜揚げしたしらすを網に並べる
- ②しらすの天日干し、くしによる作業
- ③梱包パックの作成

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・水産の基本的な流通構造を理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	4.0
緊張感を保てた	5.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.0

漁業が盛んな相模湾一帯のなかでも茅ヶ崎では、しらす漁が盛んに行われている。受け入れ先の北村水産では新鮮なしらすを仕入れ、手作り製法にこだわったしらす干しを作っている。子どもたちは、しらすの釜揚げ作業の見学から天日干し、梱包パッケージ作りなどを体験。参加した子どもたちから「しらす干しが作られるまでこんなに大変だと思わなかった。」「しらすは身近な食べ物だと思っていたが知らないことが多かった。」などしらす干しを作る仕事の大変さを学び、しらすや海に対する関心を高めることに成功したと推察できる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

水族館展示用の魚を採集しよう！ @静岡県

お仕事ミッション：

展示用の魚を採集し、水槽展示づくりの手伝いをする

【受入事業者】
伊豆・三津シーパラダイス

【開催日】
2021年10月31日

【開催場所】
静岡県・沼津

【参加人数】
子ども：10名



【研修/実践内容】

- ①展示用の魚の採集業務
- ②生態学習
- ③生物の展示・紹介表示板の作成

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海の生態系を理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	4.5
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.5

水族館の展示は飼育員が生き物を飼育することで支えられ、様々な調査・研究が行われている。子どもたちは、水族館で展示する魚の採集、採集した魚を実際のお客様に紹介するPOPづくりを体験。参加した子どもたちは、「水族館にいる魚がどのように採集されているか知ることができた。」「大変な仕事だけど水族館に魚が展示されているのを見ると嬉しかった。」など水族館での仕事の大変さとやりがいを感じることができた。

一本釣り漁のお仕事をしよう！ @神奈川県

お仕事ミッション：

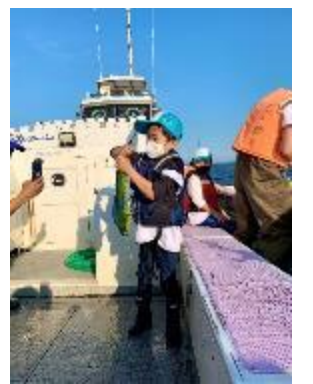
漁師として、一本釣り漁で新鮮なお魚をとる

【受入事業者】
平塚漁組/庄三郎丸

【開催日】
2021年11月3日

【開催場所】
神奈川県・平塚

【参加人数】
子ども：20名



【研修/実践内容】

- ①一本釣り漁についての学習（道具の使い方・漁方法）
- ②荷揚げ、仕分け
- ③梱包作業

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・魚食文化、海洋資源/従事者の有難みを理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.0
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	3.5
一体感があった	4.5
夢中になっていた	4.0

平塚では昔、伝統的なカツオ一本釣りが行われていたが、現在では定置網漁・しらす船びき漁・刺し網漁が盛んに行われている。子どもたちは、漁組からの海洋調査の依頼の元、釣り竿の使い方を教えてもらい、一本釣りを体験し、揺れる船で仕事をする漁師の大変さを実感した。職業体験を通して、魚や海への関心が高まり、保護者から「魚が食べられなかった子どもが魚を食べるようになった。」等の声を頂き、海と生活のつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

漁師のお仕事をしよう！@神奈川県

お仕事ミッション：
漁師として、刺し網漁で新鮮なお魚をとる

【受入事業者】
小坪漁組/逗子市経済観光課

【開催日】
2021年11月6日

【開催場所】
神奈川県・逗子

【参加人数】
子ども：20名



【研修/実践内容】
①刺し網漁について学習
②漁具の詰め込みや整備
③荷揚げ、仕分け、梱包作業

【まとめ作業】
・レポート作成
・魚食文化の理解、海洋資源や従事者への感謝

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	4.5
緊張感を保てた	5.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.5

受け入れ先の小坪漁港は磯焼け問題など、年々漁獲量が減っており、その現実も漁師から講義にて説明。子どもたちは、刺し網漁から獲れた魚の梱包作業までを体験し、魚が食卓に並ぶまでの流れを実感。参加した子どもたちは、「揺れる船の上で毎日働いている漁師さんはすごいと思った。」「いつも食べている魚がこんな風にとられていることを初めて知った。」「年々、魚がなくなるのが怖い」など漁師の仕事の大変さと有難みを感じる機会を提供することができた。

海の手配師、石垣幸二さんのお仕事@静岡県

お仕事ミッション：
水族館に届ける生物の手配とトリセツづくりをする

【受入事業者】
ブルーコーナー

【開催日】
2021年11月13日

【開催場所】
静岡県・沼津

【参加人数】
子ども：名



【研修/実践内容】
①生物の発送手配業務
②生態学習
③生物のトリセツ作成

【まとめ作業】
・レポート作成
・海の生態系について理解する

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	4.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	5.0
夢中になっていた	5.0

海の手配師とは、石垣幸二さんが作り上げた世界中の海から生き物を捕獲し、世界中の水族館や店舗に手配する仕事。海の手配師の仕事をするためには、生物に関する知識や捕獲するための世界中のネットワーク、展示アイデアを持つことが必要。子どもたちは、水族館へ発送するパッキング業務とトラックへの積み込みを体験し、環境の変化に敏感な生き物の飼育の難しさを実感。「水族館に魚が展示されるまでこんなにたくさんの作業があると知らなかった。」「生き物を大切にしようと思った。」など海の手配師の仕事の大変さ、生き物の大切さを考える機会を提供することができた。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

■各イベントの実施概要 (前年度からの継続実施イベント：全7種/7回開催)

ひもの作りのお仕事をしよう！@神奈川県

お仕事ミッション：
ひもの作り、お店に納品する

【受入事業者】
早瀬のひもの

【開催日】
2021年6月5日

【開催場所】
神奈川県・小田原

【参加人数】
子ども：10名



【研修/実践内容】
①ひもの作り（捌き、洗浄、漬け込み、乾燥）
②納品

【まとめ作業】
・レポート作成
・海洋資源/従事者への感謝、魚食文化の理解

【独自コンテンツ評価（5点満点）】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.5
一体感があった	4.0
夢中になっていた	5.0

全国3位の実績を持つひもの名店、早瀬ひもの店にて体験を実施。これまで3回開催実績があり、ほぼ自走化コンテンツとなっている。地域の小学校の職業体験を月1回ペースで受け入れていることもあり、体験内容、解説、進行、パーフェクトであった。参加した子どもから「ひもの作りでも、血をとる、塩水につける、などの作業をするかしないかによって味が変わってくることにおどろいた」というコメントをいただき、より深く魚について考える機会を提供できたと捉えることができる。

鮮魚店のお仕事をしよう！@神奈川県

お仕事ミッション：
鮮魚店で売り場の準備、お魚の販売や加工をする

【受入事業者】
魚國商店

【開催日】
2021年6月12日

【開催場所】
神奈川県・小田原

【参加人数】
子ども：8名



【研修/実践内容】
①魚國流 接客の心得を学ぶ（魚の目利き、接客ポイント）
②売り場の準備（設置/陳列/POPづくり/値付け/看板の作成）
③販売（呼び込み/接客/レジ）
④加工（すきみ取り/梱包）

【まとめ作業】
・レポート作成
・海洋資源/従事者への感謝、魚食文化の理解

【独自コンテンツ評価（5点満点）】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	5.0

受入先の魚國商店は小田原で110年続く、地元の方に愛され続けている老舗鮮魚店。お仕事体験の中では、実際に一般客や常連に販売した為、子供たちも良い緊張感の中、一生懸命に声を出し、学んだ目利きを駆使しながら、案内をしていた。参加した子どもたちは、「魚屋さんの仕事が大変だと感じた。」「これから魚を食べるときに感謝しようと思った。」など鮮魚店での仕事の大変さや有難みを感じる機会を提供することができた。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

無人島を探検！観光ツアーを作るお仕事しよう

【受入事業者】

さいとうスクール

【開催日】

2021年8月22日

【開催場所】

静岡県・下田

【参加人数】

子ども:6名



【研修/実践内容】

- ①ジオパークガイドとして観光マップ作成
- ②島の磯の生物、地質、植物などの基礎知識や特徴を学ぶ

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・観光マップ作成

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	3.5
一体感があった	4.0
夢中になっていた	5.0

お仕事ミッション：

ジオパークとして認定されていない無人島を調査し、多くの方に来てもらえるよう、観光MAPを作成する

ジオパーク/ネイチャーガイドとは、海や山などの自然の楽しみ方やそこに住む生物の特徴を学んで、多くの人に伝えたり体験してもらうイベントを作るなど安全に楽しく自然を案内する仕事。子どもたちは、赤根島という無人島の魅力を伝えるため、生態系や地形の調査とオリジナル観光マップの作成を体験。参加した子どもたちは、「海には色々な生物がいるから汚してはいけないと思った。」「もっと沢山の島や海について勉強したい。」など島・海と生活のつながりを意識するきっかけになったと推察できる。

ひがたの魅力を伝えるお仕事しよう@千葉県

【受入事業者】

谷津干潟

【開催日】

2021年10月2日

【開催場所】

千葉県・習志野

【参加人数】

子ども：9名



【研修/実践内容】

- ①干潟の生き物、生態系の観察
- ②来館者への案内

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海/干潟の生態系を理解
- ・他者への海の魅力の発信

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.5

お仕事ミッション：

自然ガイド員として来館者に干潟の魅力を伝える

谷津干潟自然観察センター様ご協力のもと、レンジャー（自然保護員）の目線で「自然のメッセージの代弁者」として、干潟の自然を学び、観察し、来場者に説明することをゴールとした企画。参加した子どもたちからは、「自然の面白い面だけではなく、危険な面もおしえることで、面白さや、気をつけることが多くなるし、お客様にもわかりやすくなる。」など、自然と触れることによる気づきを得た様子を伺えた。こちらも次年度以降、完全自走化を見据えたコンテンツとなる。

事業内容

- 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

しらす加工のお仕事@茨城県

お仕事ミッション：
しらす加工、ハマグリを選別を行う

【受入事業者】
安重水産／アントラーズホームタウン
DMO

【開催日】
2021年10月9日

【開催場所】
茨城県・鹿嶋市

【参加人数】
子ども：6名



【研修/実践内容】

- ①しらす加工
- ②ハマグリを選別

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海洋資源/従事者への感謝、深海への関心

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.5
一体感があった	3.5
夢中になっていた	5.0

加工とは作り手がそれぞれの考え方で手を加えることによって商品の良さを引き出してそれを商品にすること。受け入れ先の安重水産さんでは、しらす、煮干し、ハマグリなどを販売している。子どもたちは、しらすのパッキングやハマグリを選別を行う業務を体験。参加した子どもたちから「しらす干しが作られるまでこんなに大変だと思わなかった。」「しらすは身近な食べ物だと思っていたが知らないことが多かった。」などしらす干しを作る仕事の大変さを学び、しらすや海に対する関心を高めることに成功したと推察できる。

深海漁師のお仕事@静岡県

お仕事ミッション：
深海漁師として、深海生物をとる

【受入事業者】
長兼丸/MANAVIA!(するがDMO)

【開催日】
2021年10月16日

【開催場所】
静岡県・焼津

【参加人数】
子ども：12名



【研修/実践内容】

- ①深海生物・漁法について学習
- ②深海魚（オオグソクムシ）漁の実践
- ③深海生物の仕分け、片付け

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海洋資源/従事者への感謝、深海への関心

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.5
一体感があった	3.5
夢中になっていた	5.0

お仕事コンテンツの中では屈指の人気体験。駿河湾では、アオザメやカグラザメ、オンデンザメ、ミルクガニ、オオクチイシナギ、オオグソクムシなどの深海魚をとることができ、生物ごとに適した漁法をとっている。子どもたちは、オオグソクムシ漁、獲れた生物の仕分け、梱包作業を体験。参加した子どもたちは、「初めて深海魚に触れることができ楽しかった。」「深海漁師の仕事の大変さを感じた。」など駿河湾の環境理解や海洋生物への理解を深める機会に繋がったと推察できる。

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

イルカの飼育員のお仕事をしよう@静岡県

お仕事ミッション：

イルカの飼育員として、イルカの健康管理やトレーニングをする

【受入事業者】
下田海中水族館

【開催日】
2021年10月24日

【開催場所】
静岡県・下田

【参加人数】
子ども：3名



【研修/実践内容】

- ①イルカの生態学習
- ②調餌、給餌
- ③イルカトレーニング

【まとめ作業】

- ・レポート作成
- ・海洋生物/海の生態系の学び

【独自コンテンツ評価 (5点満点)】

内容/時間のバランス	4.5
講師の習熟度	5.0
緊張感を保てた	4.0
一体感があった	4.0
夢中になっていた	4.5

本お仕事体験は、内容面・運用面含め精度高く仕上がっており、ほぼ自走化が可能なプログラムである。子どもたちは、イルカのエサやりと健康チェック、トレーニングの業務を体験。参加した子どもたちからは、「大昔は、イルカが犬みたいな姿で陸地を歩いていたこと。犬のような姿から進化して後ろ足がなくなったことが知れて嬉しかった。」「イルカは一日10kg以上の餌をたべること」などお仕事を体験したからその学びを得ている様子が伺えた。

■ 継続意向事業者一覧

イベント名	継続実施事業者名
ひものづくりのお仕事をしよう！@神奈川県	早瀬幸八商店
鮮魚店のお仕事を使用！@神奈川県	魚國商店
深海漁&深海生物調査のお仕事をしよう！@静岡県	長兼丸
テトラポッドを研究開発するお仕事！@茨城県	不動テトラ株式会社
水中カメラマンのお仕事をしよう！@千葉県	館山ダイビングサービスSARA
漁師のお仕事をしよう！@茨城県	大洗漁協
わさびを収穫するお仕事をしよう！@静岡県	ジオガイド協会/藤井わさび農園
イルカ飼育員のお仕事をしよう！@静岡県	下田海中水族館
サンゴを守るお仕事をしよう！@静岡県	平沢マリンセンター
干潟の魅力を伝えるお仕事をしよう@千葉県	谷津干潟自然観察センター
新しい観光ツアーコースを作るお仕事をしよう@静岡県	さいとうスクール
海の手配師 石垣幸二さんのお仕事@静岡県	ブルーコーナー

事業内容 - 体験事業 -

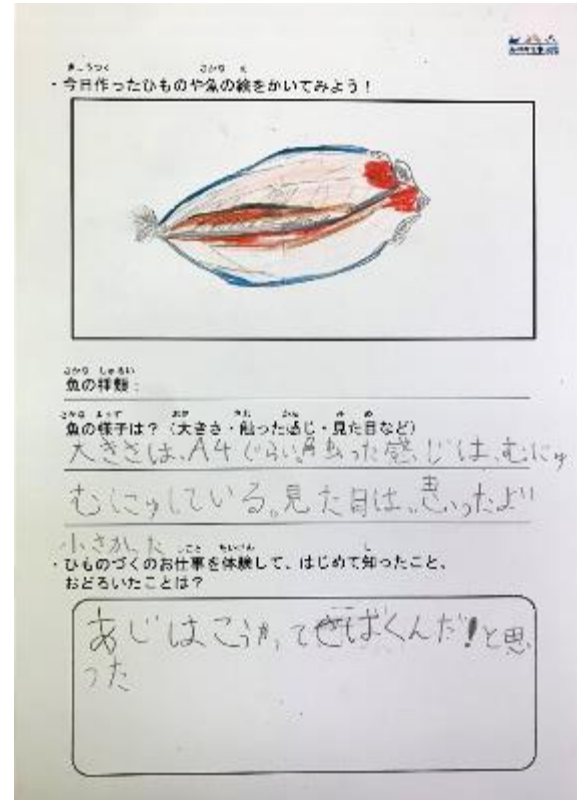
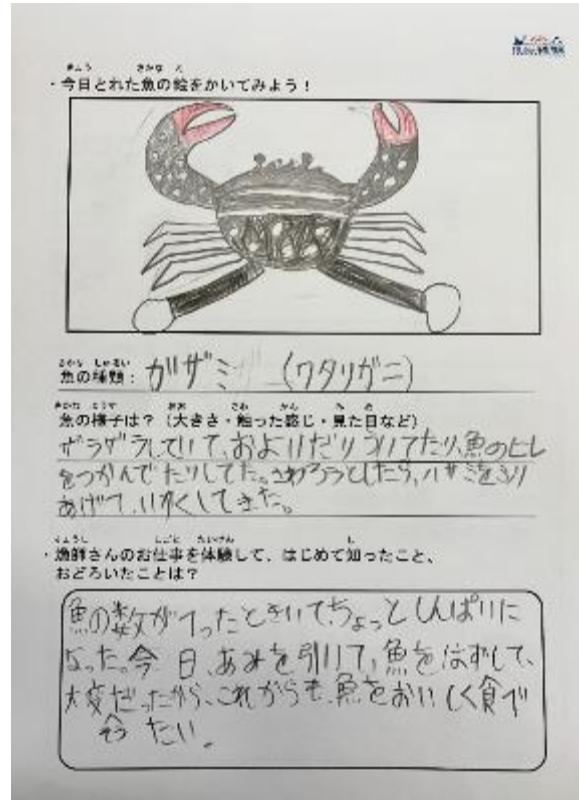
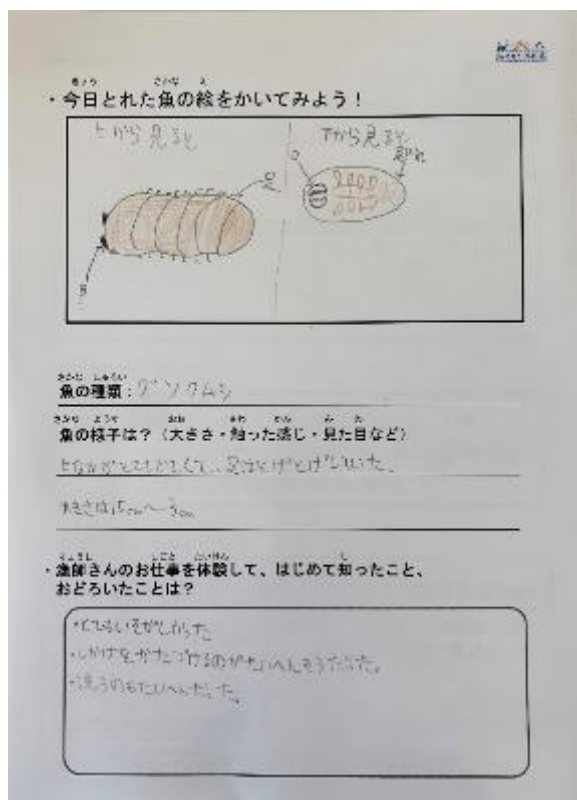
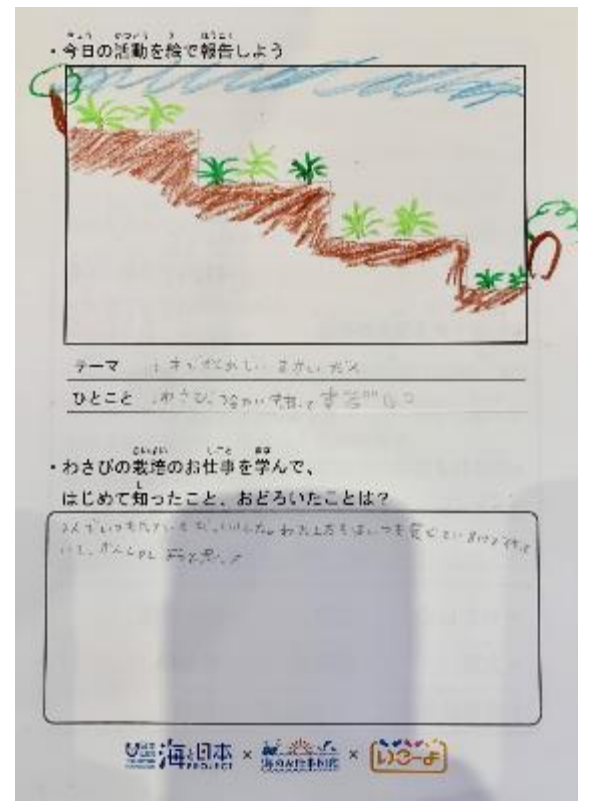
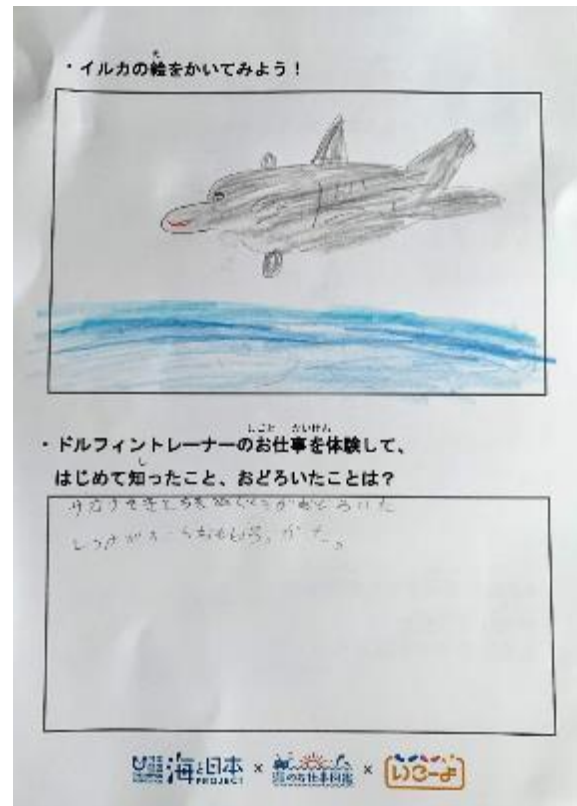
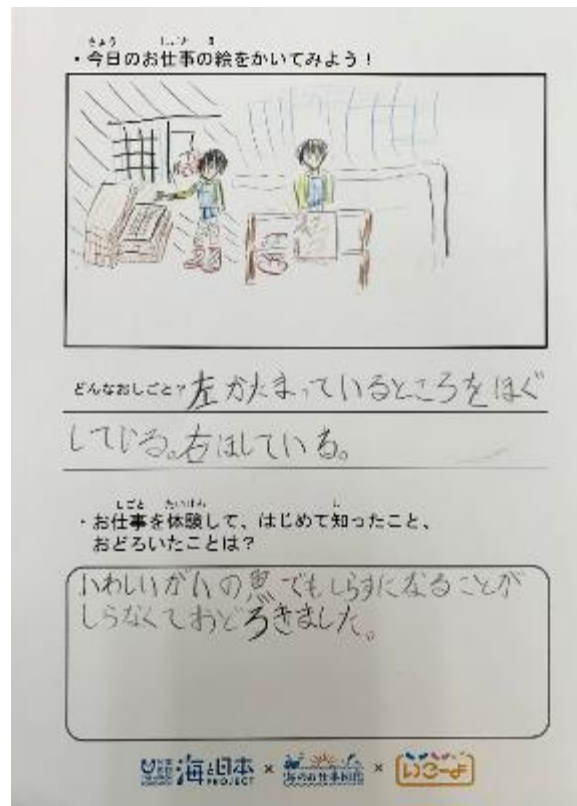
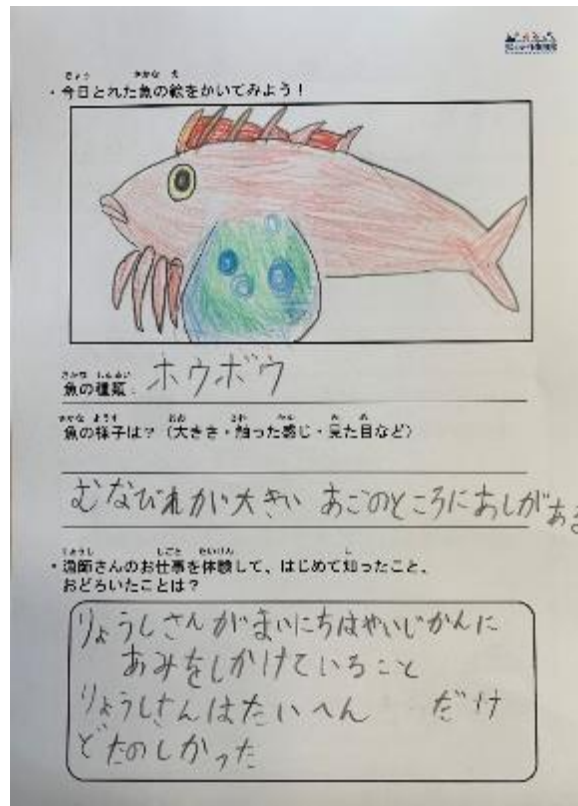
■ イベント総括補足資料 (子どもたちのアウトプット (日報) ※一部)

子どもたちがお仕事の最後に日報を作成 (お仕事の振り返り)



お仕事の大切な学びを
絵と共に振り返る。

子どもたちのアウトプット (日報) ※各お仕事毎に専用のフォーマットを用意



■ イベント総括補足資料 (子どもたちの感想 ※アンケートより抜粋)

- ・「魚を切るのが難しかった。いつも食べているひものを作るのがこんなに大変だと知らなかった。」
(ひもの作りのお仕事をしよう！ @神奈川県 参加者)
- ・「海は色々な生物がいるから汚してはいけないと思った。海は地球と生き物の宝石だということをたくさんの人に伝えたい。」
(無人島を探検！ 観光ツアーを作るお仕事をしよう@静岡県 参加者)
- ・「自分だったら毎日朝の4時に起きれないと思った。漁師の仕事が大変だと感じた。」
(漁師のお仕事をしよう！ @千葉県 参加者)
- ・「人は自然の恵みからできているので、これからも自然を大切にしようと思った！」
(川の環境を守るお仕事をしよう！ @埼玉県 参加者)
- ・「イルカはサインを出す人が変わってもサインどりに動くことができていると驚いた。」
(イルカトレーナーのお仕事をしよう@静岡県 参加者)
- ・「自分で捕まえて、さばいたお魚が美味しかった！ また佐渡島に行きたい。」
(佐渡島の漁師のお仕事をしよう！ @新潟県 参加者)
- ・「生き物を大切にするには、川や海の環境を守ることだと分かったので、これからも生き物を大切にしたい。」
(干潟の魅力を伝えるお仕事をしよう@千葉県 参加者)
- ・「しらすがどのようにして作られているのか知れて楽しかった。」
(しらす加工のお仕事をしよう！ @茨城県 参加者)
- ・「サンゴを守るために自分で出来ることをやろうと思った。」
(サンゴの植樹体験を試みよう@静岡県 参加者)
- ・「テトラポッドは自分たちの生活を守ってくれていることを知ることができた。」
(テトラポッドを研究開発するお仕事@茨城県 参加者)
- ・「水族館にいるお魚がどのようにして採集されているか知ることができた。大変な仕事だけど水族館にお魚が展示されると嬉しいと感じた。」
(水族館展示用の魚を採集しよう@静岡県 参加者)
- ・「水族館にいる魚が海の手配師によって運ばれて水族館にいるんだなと思い、海の手配師がすごいと思った。またこれからも生き物を大切にしていこうと思った。」
(海の手配師、石垣幸二さんのお仕事@静岡県 参加者)

事業内容 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】

■ 進行マニュアル

各お仕事体験毎に制作し、運営を実施致しました。

お天気キャスター

【進行台】

● 8月29日 Time Table

時間	スタッフ	内容
9:00	スタジオ到着	
9:15	収録開始	
9:30	収録	
9:45	収録	
10:00	収録	
10:15	収録	
10:30	収録	
10:45	収録	
11:00	収録	
11:15	収録	
11:30	収録	
11:45	収録	
12:00	収録	

概要・進行スケジュール

【スタッフ】

企画名：海のお仕事体験プログラム
 実施日時：8月29日(日)
 対象者：小学3～6年生 (学年別募集)
 配信種別：アットインディ第1会議室

【準備物】

- カメラ2台 (身体予備用)
- ワイヤレスマイク2台
- PC6台 (詳細はページ「+PCの準備」で確認)
- スクリーン2台
- メインモニターから繋がる、カメラ用 吸入分
- モニター2台
- 進行用2台 (巻物・石上様用) スタッフ用4台

【メール案内】

- 8月28日 募集締切案内
- 8月29日 当日案内
- 8月29日 終了後案内

【事前配信内容(8月29日)】

- ※大人用
 - ZOOMの使い方
 - アイスゲーム
 - 海プロジェクト案内
- ※子ども用
 - アタラシイゲーム
 - お天気キャスターレポート
 - アイスゲーム
 - アンケート
 - 名刺
 - リコーダーレッスン

進行台

【1時】

お天気キャスター さん

進行台

【2時】

お天気キャスター さん

進行台

【3時】

お天気キャスター さん

進行台

【4時】

お天気キャスター さん

進行台

【5時】

お天気キャスター さん

進行台

【6時】

お天気キャスター さん

進行台

【7時】

お天気キャスター さん

進行台

【8時】

お天気キャスター さん

進行台

【9時】

お天気キャスター さん

進行台

【10時】

お天気キャスター さん

進行台

【11時】

お天気キャスター さん

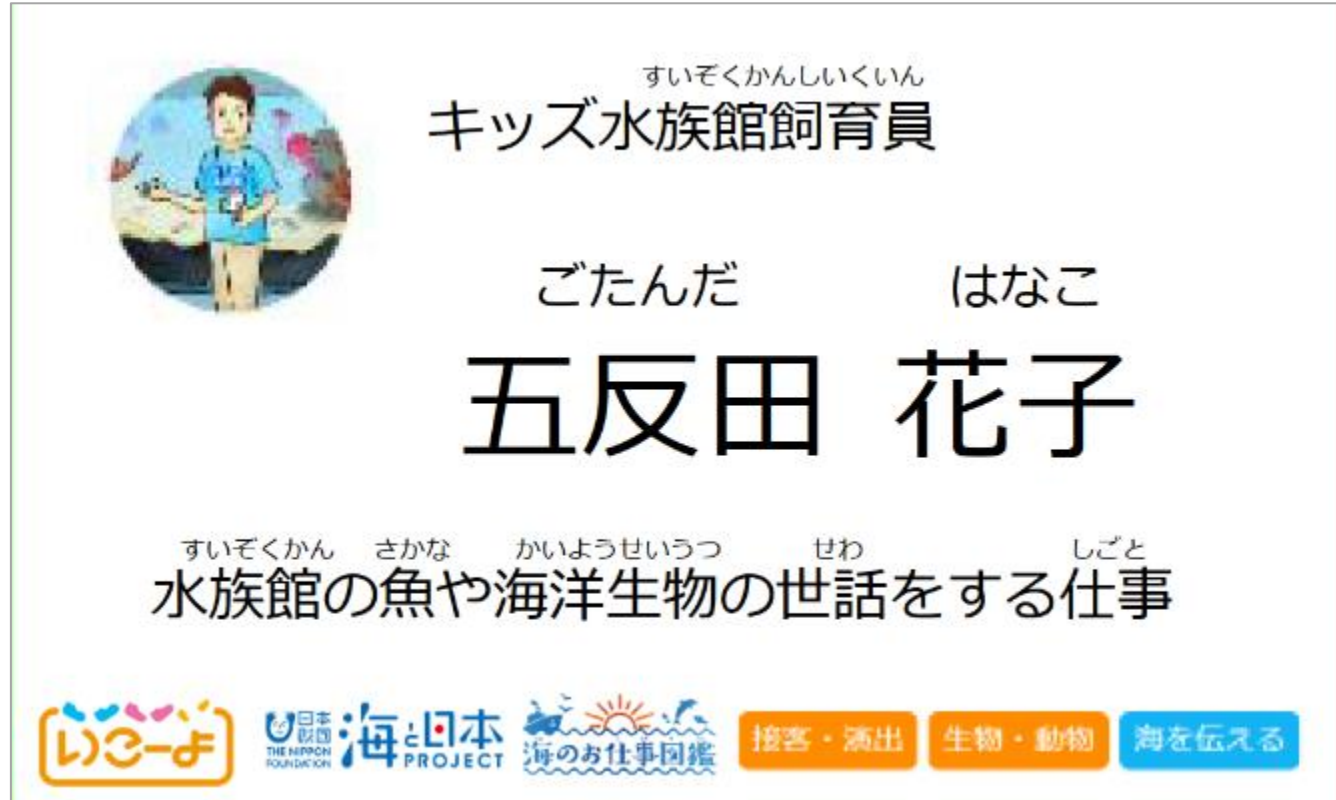
進行台

【12時】

お天気キャスター さん

■名刺

お仕事終了後に当日のお仕事の講師から「修了証」の位置付けで子ども達に配布。同僚(他の参加者)や講師と名刺交換も行いました。



中央には、子どもたち一人ひとりの名前を記入しました。

※こちらは、「イルカ飼育員のお仕事をしよう！」のものとなります。全てのお仕事で各お仕事に沿った制作物を用意し運営致しました。

■制作動画

イベント名	制作状況
海の手配師 石垣幸二さんのお仕事@静岡県	済
テトラポッドを研究開発するお仕事をしよう！ @茨城県	済
水族館展示用の魚を採集しよう@静岡県	済
北限のサンゴ礁を守るお仕事をしよう！ @静岡県沼津市	済
わさびを収穫するお仕事をしよう！ @静岡県	済



事業内容 - WEB事業 -

WEBページ

「海のお仕事図鑑」WEBでは、これまでの動画を一覧にして、見やすく設置するなどリニューアルを行いました。

トップページ



海のお仕事図鑑WEB URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto

海のお仕事図鑑とは？

私たちが住んでいる日本は海に囲まれた島国です。日本で暮らしてきたご先祖さまたちは、ずっと昔から海の恵みをいただきながら、海で魚をとったり、船によって外国と交流してきました。日本に暮らす私たちの生活に、海はなくてはならないものなのです。海のお仕事図鑑では、海のさまざまな仕事をイラストでわかりやすく説明するだけでなく、実際に皆さんが海のお仕事を体験できる、楽しいイベントもたくさん紹介しています。海のお仕事体験を通じて、海の大切さや問題を少しでも皆さんに知ってもらえたらうれしいです。

好きなことからさがす

お仕事の内容からさがす

食・料理	ヒーロー	接客・演出
自然	工作・アート	生物・動物
乗り物	機械	図鑑・実験

これまでの体験動画の一覧を掲載。一般の方の参加意欲を高めるコンテンツとともに、新規に参画する事業者への実施イメージを持たせるコンテンツとして活用。

これまで様々な職業ジャンルの動画が増えたことで、より新規事業者の実施イメージが付きやすくなり、更に参画しやすい土壌ができています。



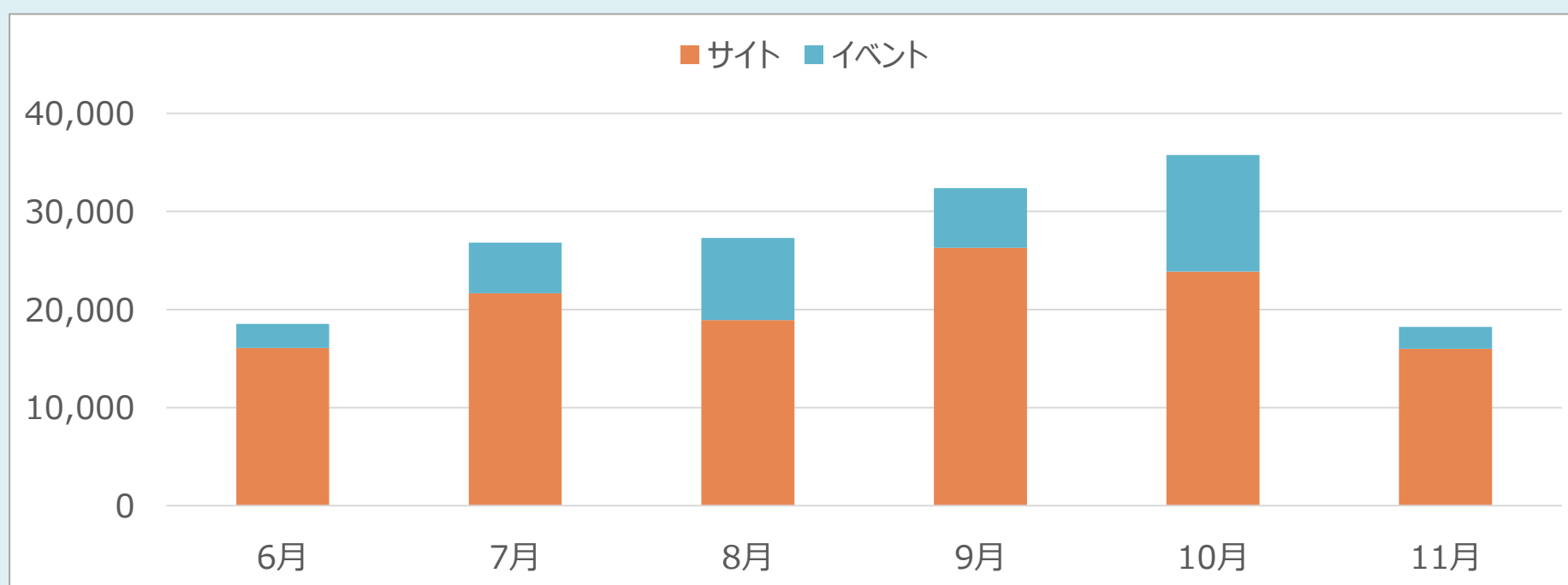
WEBサイトの定量指標等

■ **WEBサイト PV等** こちらは、2021年6月1日～11月30日までのデータとなります。

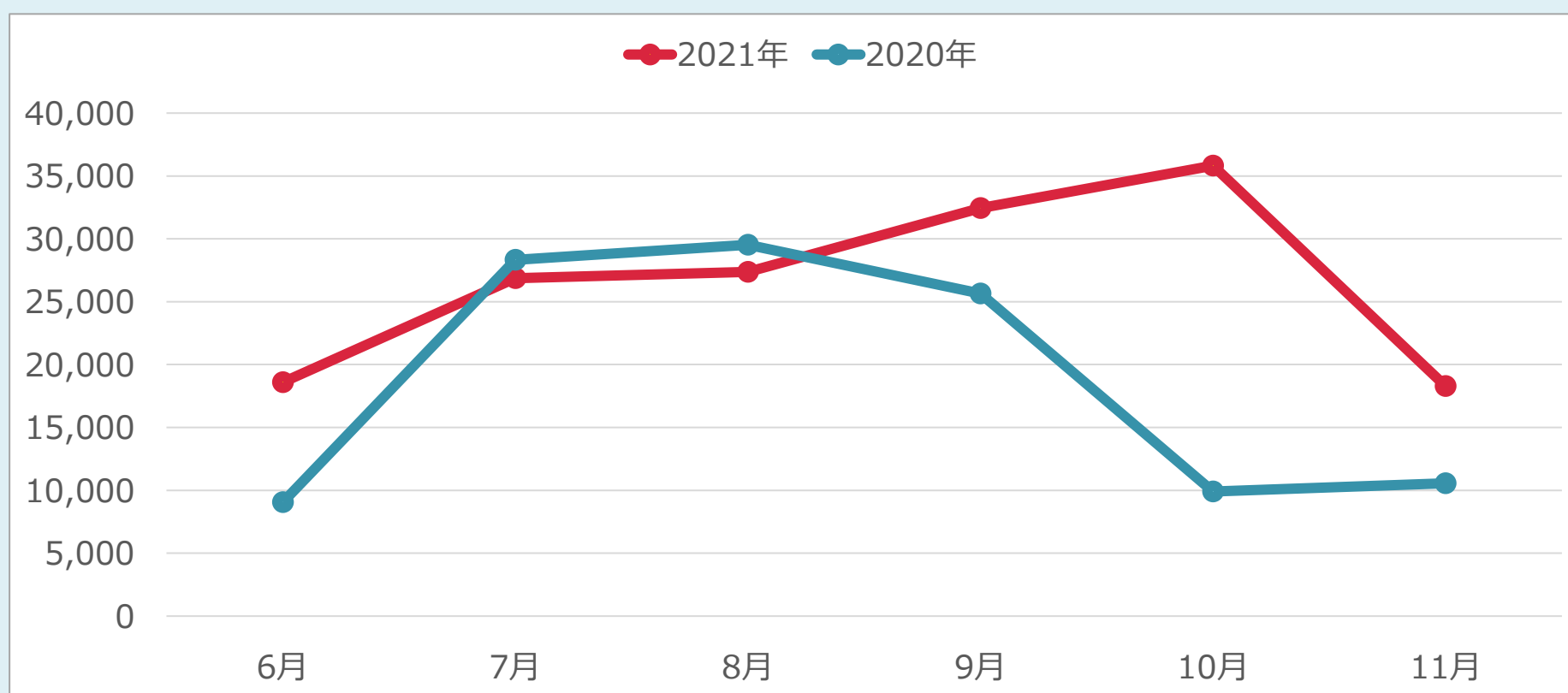
海のお仕事図鑑 総閲覧回数

159,378回以上 (昨対 **約1.4倍**)

海のお仕事図鑑とお仕事イベントの閲覧回数



海のお仕事図鑑 PV昨対比較



■ 2021年11月6日開催「漁師のお仕事をしよう！@神奈川県」



広報ずし2022年2月号 掲載（表紙、本編）

逗子市広報「広報ずし」の表紙ページ、特集ページにて掲載。

漁業の可能性を広げる挑戦のなかで、観光を切り口とした漁港を活性化するプロジェクトとして紹介。

都内の小学生がリアルな漁師体験を通して、漁師の仕事の大変さや海洋プラスチック問題など海の豊かさを守る大切さを学んだことをアピール。

漁業の可能性を広げる挑戦

漁師や地域企業、商工会、福祉法人などの代表により設立された合同会社こつぼが、法人として初めて小坪漁業協同組合に加入するなど、漁業の新たな可能性を広げる取り組みが動き出しています。

観光×漁業「海のお仕事体験プロジェクト」

観光客を呼び込み漁港を活性化しようと初めて実施した、日本財団と連携した小学生向けプロジェクト。このノウハウをもとに、今後は漁業協同組合による継続実施を目指します。

▼当日の様子を動画で紹介



船上での漁師体験

漁師を手伝うために「仕事」として船に乗り込む子どもたちの顔は真剣そのもの。網にかかった跳ねる魚を慣れない手つきながら一生懸命捕まえます。



買い物

仕事の対価は、その日限りの地域通貨。水揚げした魚や小坪の海産物を買ひ、思い出と一緒に持ち帰ります。



都内からたくさんの参加がありました
参加者の保護者から

子どもが釣りや魚をさばくことに興味があり、参加しました。驚いたのは、東京からすぐ近くの海で、普段見ることのないこんなにも多くの種類の魚がとれること。海洋プラスチックゴミなどが社会問題になっていますが、実際に海の豊かさを体験すると、きれいな海を守ろうという気持ちや育まれます。親子共々、良い体験でした。



地元新聞社、テレビのほか、「建設通信新聞」など海洋土木分野に特化した専門媒体に取材されるなど業界に対して強くPR。

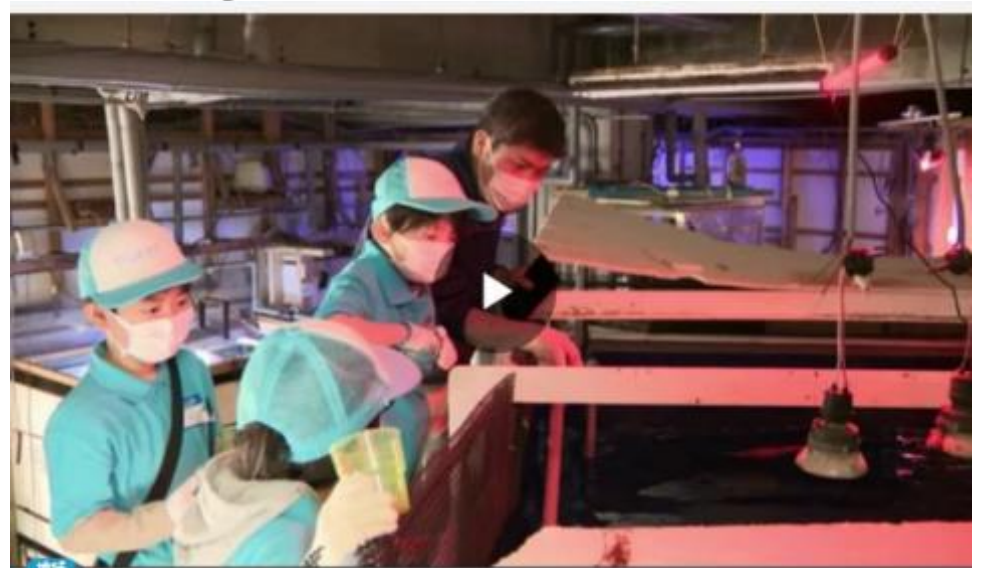
新聞をもとにWEB系ニュースにも掲載され、情報拡散されている。

■ 2021年10月9日開催「しらす加工のお仕事をしよう@茨城県」



2021年10月16日 茨城新聞にて掲載

■ 2021年10月24日開催「水族館の深海魚をPRしよう！@静岡県」



水族館のお仕事体験 怖い深海魚も好きになった?! 静岡・下田市

テレビ静岡

2021年12月16日 木曜 午後5:50

2021年12月16日 テレビ静岡にて放送

■ 2021年10月23日開催「テトラポッドを研究開発するお仕事@茨城県」



キッズ研究員が「海のお仕事体験」 不動テトラ技研でイベント

【海と日本プロジェクト広報事務局】
2021年10月23日(火) 16時17分 PR TIMES

海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会は、港湾土木事業のスペシャリスト株式会社不動テトラと共に、小学生を対象とした「お仕事体験」を開催いたしました。本企画は不動テトラ総合技術研究所にて、波やテトラポッドの仕組み、自然の脅威から私たちの生活を守る方法などについて、職業体験を通して学ぶ機会を提供しました。この活動は、日本財団が推進している「海と日本PROJECT」の一環として、お仕事を通じて海とともに生きること、環境を守ること、そして海からいただく恵みについて、たくさんの学びや気づきが詰まった小学生向けの体験プログラムを実施しています。

2021年10月23日10時【場所】不動テトラ総合技術研究所(土浦市)

海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会は、港湾土木事業のスペシャリスト株式会社不動テトラと共に、小学生を対象とした「お仕事体験」を開催いたしました。本企画は不動テトラ総合技術研究所にて、波やテトラポッドの仕組み、自然の脅威から私たちの生活を守る方法などについて、職業体験を通して学ぶ機会を提供しました。この活動は、日本財団が推進している「海と日本PROJECT」の一環として、お仕事を通じて海とともに生きること、環境を守ること、そして海からいただく恵みについて、たくさんの学びや気づきが詰まった小学生向けの体験プログラムを実施しています。

【海と日本プロジェクト広報事務局】
2021年10月23日10時【場所】不動テトラ総合技術研究所(土浦市)

海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会は、港湾土木事業のスペシャリスト株式会社不動テトラと共に、小学生を対象とした「お仕事体験」を開催いたしました。本企画は不動テトラ総合技術研究所にて、波やテトラポッドの仕組み、自然の脅威から私たちの生活を守る方法などについて、職業体験を通して学ぶ機会を提供しました。この活動は、日本財団が推進している「海と日本PROJECT」の一環として、お仕事を通じて海とともに生きること、環境を守ること、そして海からいただく恵みについて、たくさんの学びや気づきが詰まった小学生向けの体験プログラムを実施しています。

子どもたちが波やテトラポッドを研究！不動テトラ総合技術研究所でお仕事体験を開催！



写真も拡大

2021年10月26日 BIGLOBEにて掲載

不動テトラ総合技術研究所、「お仕事体験」開催

2021年10月26日 19:40



海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会は、港湾土木事業のスペシャリスト「不動テトラ」と共に、小学生を対象とした「お仕事体験」を開催。不動テトラ総合技術研究所にて、波やテトラポッドの仕組み、自然の脅威から私たちの生活を守る方法などについて、職業体験を通して学ぶ機会を提供しました。

2021年10月26日 WorkMasterにて掲載



2021年11月7日 時事ドットコムにて掲載

2021年10月29日 建設通信新聞にて掲載

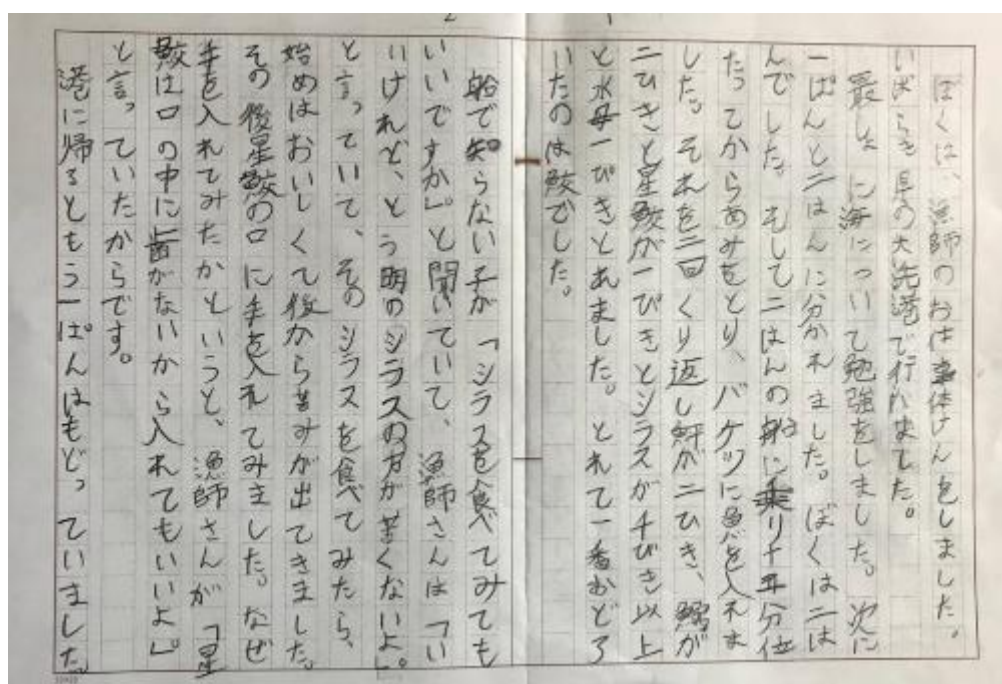
■ 2021年10月9日開催「わさびの収穫体験をしてみよう」



2021年10月22日 テレビ静岡にて放送



■ お仕事体験の作文が作文コンクール佳作受賞



大洗で行われた漁師のお仕事体験に参加してくれた子供が書いた作文が読売新聞主催第70回全国小・中学校作文コンクール 小学生低学年の部 佳作を受賞

